

令和元年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立太秦小学校

4月18日に本校6年生156名を対象に実施された「全国学習状況調査」について、結果がまとめました。本調査は、国語科・算数科の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間や学校生活に関わる調査も実施されております。学力と生活習慣の関係なども合わせて、本校の児童の状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数）

実施された国語・算数すべてにおいて全国平均を上回りました。どの教科においても、無回答で終わっている児童が少なく、きちんと問題に向き合い、最後まできちんと問題を解き切るという姿勢が育ちつつあります。どの教科でも、問題に対して1人で考える時間をきちんととり、自分なりの考えをもてる様にしてきた成果だと思います。

国語科より

全体的によくできています。特に、「読むこと」領域の問題（3つの設問）では、特に良好な結果でした。普段より、説明的文章を目的に応じて文章の内容を押さえる指導をしてきた成果が出てきたのではないかと思います。しかし、「同音異義語」の漢字を書く問題については課題が残っています。

これからは、学習した漢字は実生活に結び付けて使っていくことが大切です。また、繰り返し使うことで定着します。普段から漢字を使った文章を書くように指導していきます。

算数科より

全体的によくできています。特に基本的な計算問題は、非常に正答率が高く、学習してきたことを反復してきたことで、着実に力を付けています。

一方で、「図形」の問題には課題が残っています。見えている形だけを捉えがちになってしまい、図形の性質や構成要素に着目して図形を観察することに課題があります。

具体物を操作しながら図形を構成・分解する活動が大切です。体感を通して、図形の見方や感覚を豊かにできるようにしていきます。

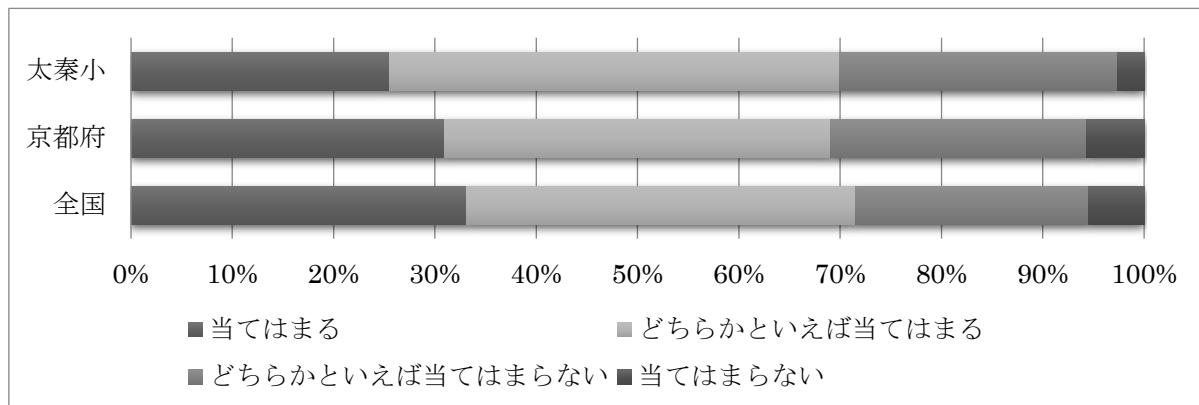
保護者の皆様へ



全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、その可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。引き続き、児童の健やかな育ちと学びの環境づくりにご理解・ご協力をお願いいたします。

児童質問紙調査から①

Q 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。（質問番号 17）

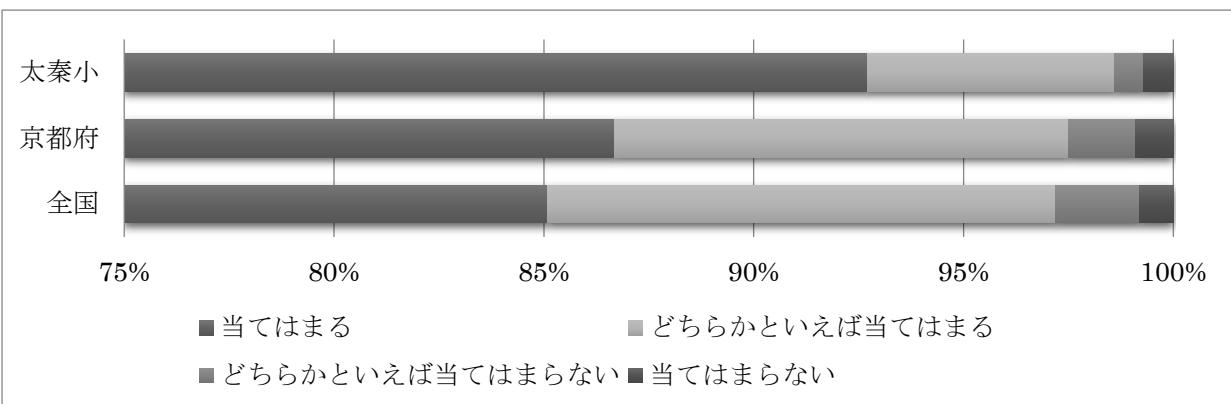


今年度の6年生は、70%近くの児童が計画を立てていると回答しています。昨年度よりも改善の傾向にありますが、全国的には少し低い傾向にあります。

6年生には、5年生のころより自主的に計画を立てて宿題ができるよう、「自主勉強」の宿題も出しています。ただやらされているだけの宿題ではなく、自ら進んで学習して行ってほしいと思います。また、昨年度から「家庭学習の手引き」を出しています。お家でもどんな宿題をしているのか確認していただいて、計画的に学習ができるように声掛けをしていただけたらと思います。

児童質問紙調査から②

Q いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。（質問番号 5）



「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」が98%でした。友達を大切に思う人権感覚は京都府及び全国平均と比べても非常に高いです。昨年度の6年生も同様に、97%の児童が「当てはまる」「どちらかというと、当てはまる」でした。これは、毎月行っている、「えがおの日」の成果が出てきているのではないかと思います。

今後も、「えがおの日」の取り組みを続けていきます。今年度は、悪天候のため中止としましたが、来年度の「えがおの参観」に来ていただくだけでなく懇談会にも参加していただき、人を大切に思う気持ちについて学校と保護者の皆さんと一緒に考えていくべきだと思います。